

連携

第88号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にできる最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



外科紹介

外科部長 原田 ジェームス 統

栗原中央病院外科は、常勤の手術・病棟業務3名、緩和ケア科1名、甲状腺外来1名、東北大学応援医師による外来に加え、大学乳腺グループ、血管グループの非常勤医師による専門外来診療で構成されています。

胃・大腸・肝胆膵・肛門等の消化器系の良性・悪性疾患、鼠径ヘルニア、甲状腺、乳腺疾患に対する治療を行っており、それらに対する手術以外にも、悪性疾患に対する術前・術後や転移巣に対する化学療法も行っています。

手術適応疾患に関しては併存疾患によっては麻酔科と相談の上、東北大学病院、東北医科薬科大学病院、大崎市民病院、岩手県立磐井病院、石巻赤十字病院をはじめとした高次医療機関へ治療紹介をさせていただくこともあり大変お世話になっております。それら医療機関での治療が一段落した後の受け入れ先としても役割を果たしていきたいと存じます。

最近では以前では考えられなかったご高齢の方

も、個人差はあるものの手術適応になることも多くなりました。その一方で治療後の体力の回復にはやはり時間を要することも事実です。医療人としては治療開始前とほぼ変わらない状態（身体的、社会的）に戻っていただくことが理想ではありますが、実際には我々の力及ばず、なかなか叶わないのが現状です。ましてや今後もさらなる高齢化が進み現状以上の対応が必要とされることは間違いないと思われます。その現実を直視し、外科医としては患者様の治癒過程を妨げることなく、よりスムーズに本来の患者様のあるべき場所へ復帰していただくことを目指してまだまだ精進しなければならないと思う次第です。

現在、病診連携を通じて当院から受け入れていただいている近隣病院や施設、在宅医療担当者様等には大変お世話になっております。今後もより患者様のためになる医療を提供できる様、病診連携を通じてご紹介・受け入れをスムーズに行なって参りたいと思います。



部署紹介

【手術室】

みなさん、こんにちは。栗原中央病院の手術室を紹介いたします！

栗原中央病院には、手術室が4室あります。主に消化器外科手術、整形外科手術を行っています。近頃は、低侵襲性手術（小さな傷で内視鏡で行う手術）が多く、鼠経ヘルニアや腸の手術も内視鏡で行っております。小さな傷ですので手術後の痛みも少なくすみます。整形外科の手術では人工骨頭や骨折、肩の腱板断裂手術などを行っています。人工骨頭の手術はなお清潔な場所での手術となりますので、宇宙服のようなものをまとい行っています。手術を受ける患者さんの年齢の幅も広くお子さんから90代の方の手術も行っています。



スタッフは、麻酔科医師1名、看護師9名です。私たちは患者さんに安全に安心して手術を受けていただけるよう日々看護しています。

手術室では、患者さんが少しでもリラックスして頂けるよう、患者さんの好きな音楽を手術室内で流しています。また安心して手術を受けて頂けるよう術前訪問を行い、手術室に入ってからの様子をお伝えし、患者さんの質問にお答えしています。

最後に・・・当院手術室では、スタッフ各自が自己研鑽に努め、より安全・安楽な手術が提供できるように日々頑張っております！不安なことがありましたら遠慮なくお話し下さい。今後ともよろしくお願いいたします。



安心
安全



連携のつどい“よらいん” 報告

令和5年10月21日(月)第33回連携のつどい“よらいん”を開催しました。今回は当院の糖尿病療養チームが盛りだくさんの内容で、各職種の視点から講義頂きました。



【糖尿病療養チーム・プレゼンツ♪】 ついに我らの出番がやってきた☆糖尿病治療をワンチームで！！

①「糖尿病について概論・栗原市の現状」内科医長 糖尿病専門医 三田 貴士 先生

②「糖尿病患者の食事の実際」日本糖尿病療養指導士 管理栄養士 柴山 詩乃

③「高齢者糖尿病患者の運動療法のすすめ」

リハビリテーション科 主任理学療法士 前川 芳輝

④「糖尿病治療薬について」薬剤部 薬剤師 野田 貴子

⑤「これからの糖尿病地域連携 糖尿病連携シートについて」

日本糖尿病療養指導士 看護師 加藤 美紀



栗原市内介護施設関係事業所の方々56名、院内から27名、計83名の参加をいただきました。

糖尿病の治療法の3本柱、①食事療法 ②運動療法 ③薬物療法 について、実際にインスリン注射を手にとり操作方法を確認したり、寸劇や運動療法を体験しながら学ぶことができました。

参加者からは「糖尿病療養チームの取り組みを知ることができて良かった。」「多職種からの専門的な話をきくことができて良かった。」という意見が多数ありました。その他にも「栗原市では高齢化率がどんどん高くなっており、糖尿病患者も増えてしまうと思うので、栗原市という大きなチームとして糖尿病予防、重症化予防の取り組みを推進できたらと考えております。」など、学んだことを次に活かしていくという意見

もたくさんありました。それぞれの分野をより詳しく聞いてみたいとの意見もあり、これを機に糖尿病療養チームの講義シリーズ化を図り、医療と介護の連携が円滑になるよう今後も取り組んでいきたいとのことでした。

今後も研修方法を工夫しながら、皆さんが知りたい情報を提供できるよう、顔の見える関係となる“よらいん”を企画していきたいと思います。



紹介していただく先生方へ

病病、病診連携を積極的に推進していくために、他医療機関からのご紹介患者様の予約をお受けしております。

呼吸器疾患における患者紹介について

当院では令和5年11月より呼吸器疾患における患者さまをご紹介頂く場合、FAXによる予約診療とさせていただきます。

皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。



【外来診療の予約の流れについて】

1. 当院専用の「紹介患者受診依頼票」に必要事項をご記入の上、地域医療連携室直通 FAX(0228-21-5336)に診療情報提供書とともに申し込みください。
2. 当院担当医師と連絡調整し、予約日時を決定します。
3. 予約日時が決まりましたら、速やかにご紹介医療機関に FAX にてご予約の回答をいたします。
4. 「紹介患者受診依頼票」「診療情報提供書」を患者様に受診時に持参していただくようお願いください。
5. ご予約の回答 FAX は、患者様控えになります。日時、持参する物などが記入されておりますので、患者様にお渡ししますようお願いいたします。

受診希望日を
忘れずに
ご記入ください



以下の診療科及び疾患は**予約診療**となります。

- ・消化器疾患 ・糖尿病疾患 ・呼吸器疾患 ・脳神経内科 ・心療内科
- ・血管外科 ・甲状腺外科 ・乳腺外科 ・皮膚科
- ・整形外科 ・肩外来 ・スポーツ外来 ・眼科

※発熱患者様ならびに当日受診依頼患者様は、「発熱問診票」もご記入の上、FAX ください。



現在の体温、車番の記入も
お願いいたします



【編集後記】

立冬をさかいに、急激に寒さがやってきました。コロナやインフルエンザのような感染症だけではなく、風邪症状から発熱する方も増えています。負けない体をつくるため、今が旬のきのこ料理で免疫力アップしてみてもいかがでしょうか。



栗原市立栗原中央病院

〒987-2205

宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

(代表) TEL: 0228-21-5330 FAX: 0228-21-5350

地域医療連携室

(直通) TEL: 0228-21-5335 FAX: 0228-21-5336

<https://www.kurihara-central-hp.jp/>